

日本の文化遺産等の世界への発信について

【担当省庁：文部科学省、経済産業省、国土交通省】

1 世界遺産暫定一覧表への追加

日本文化の世界への発信やインバウンド強化を図るために、以下の項目を世界遺産暫定一覧表に追加記載していただきたい。

① 「天橋立」

- 平成20年度に世界遺産暫定一覧表候補のカテゴリーI a評価

② 「宇治茶の文化的景観」

- 世界遺産登録の可能性を明らかにするため、イコモスが実施した「アジアの茶生産景観」を主題とする調査(平成28年)では、日本茶の代表として選出

2 和装のユネスコ無形文化遺産への登録・魅力発信

日本の伝統的衣装文化である「きもの文化」を次世代に継承し、和装(きもの文化)を発展させるため、国において和装(きもの文化)のユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組を進めていただきたい。

また、世界から日本に注目が集まる東京オリンピック・パラリンピックの機会を捉え、着物の着用等を推進し、「きもの文化」の魅力を発信していただきたい。

3 日本遺産の魅力発信、地域活性化の取組支援

文化財を活用した地域活性化・情報発信の強化のため、下記の措置を講じていただきたい。

- 亀岡市、南丹市、京都市域等の森の京都エリア（「1200年、京のみやこを支え交わった～丹波・北山～森・里・川の物語（仮称）」）を新たに日本遺産へ認定していただきたい。

- 日本遺産の認知度向上に向けた普及啓発を充実していただきとともに、日本遺産の情報発信、人材育成、普及啓発、公開活用のための整備に対する補助制度である「日本遺産魅力発信推進事業」の十分な財源確保をしていただきたい。

京都府
の担当課

政策企画部 企画参事(075-414-4486)
商工労働観光部 染織・工芸課(075-414-4856)

文化スポーツ部 文化政策課(075-414-4217)
農林水産部 農産課(075-414-4944)

■世界遺産暫定一覧表の現状

- 世界文化遺産への登録は、まずは暫定一覧表に記載される必要がある
- しかし、平成18・19年度以降公募がなく追加記載されていない（現状7件）

【世界遺産暫定一覧表（文化遺産）】

古都鎌倉の寺院・神社ほか	金を中心とする佐渡鉱山の遺跡群
彦根城	百舌鳥・古市古墳群※
飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群	平泉-弘法土を表す建築、庭園及び考古学的遺産群
北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群	※ 平成30年2月に推薦書をユネスコに提出

- 日本文化の世界への発信強化、インバウンド強化につなげるために、暫定一覧表への早期追加が必要

■世界遺産一覧表記載物件の状況

	日本※	世界
文化遺産	18 (7)	832
自然遺産	4 (1)	206
複合遺産	0 (-)	35
合 計	22 (8)	1,073

※括弧内は暫定一覧表記載

※「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、本年6月に世界遺産一覧表に記載

■ユネスコ無形文化遺産登録

■現状と課題

日本の伝統的衣装である「きもの」は、日本独自の文化とともに発展し、高度な工芸技術を結集した、日本の美意識の集大成ともいえるものであるが、和装文化・産業の現状は生産量の大幅な減少など、大きな危機に直面している。

■登録にむけた状況

文化庁は、登録申請対象を国指定の文化財とする基本原則を見直し、和装、茶道、華道など日本の伝統的な生活文化を今後の登録申請対象として検討することを決定（平成29年2月）

■本府の日本遺産の認定状況（4件）

- ①日本茶800年の歴史散歩～京都・山城～（平成27年度）
- ②鎮守府横須賀・吳・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～（平成28年度）
- ③300年を紡ぐ絹が織りなす丹後ちりめん回廊（平成29年度）
- ④荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～（平成29年度）

参考：日本遺産全国認定期数（30年度） 67件

■「1200年、京のみやこを支え交わった～丹波・北山～森・里・川の物語（仮称）」

- 主な構成文化財（予定） 美山かやぶきの里、北山杉の景観、保津川・嵐山の流れ、下黒田の伏条台杉群、松上げ神事等

- 認定されれば、森の京都DMOを主体に活性化計画を実施

- 亀岡市、南丹市、京都市と府が連携し、平成30年度申請予定

■【文化庁】「日本遺産魅力発信推進事業」（平成30年度予算額1,208百万円）

- 日本遺産を活用した観光振興等による地域の活性化を実現するためには、継続的な発信と地域活動の自立化が必要

	件数 (累計)	予算額 (百万円)	1件あたり
平成28年度	37	1,224	33
平成29年度	54	1,283	23
平成30年度	67	1,208	18